

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/29 (6/22との比較) 今後の見通し （※4）	6/29 (6/22との比較) 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.17% (+0.04)	84.29円 (+1.71%)	+2.3% 2018年1Q	1.25%	4月GDP（国内総生産）は前月比で増加し市場予想をやや上回る内容。米国によるイラン産原油の輸入停止要請などを受け原油価格が上昇する中、カナダドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	貿易収支や雇用統計などが発表予定。中銀は今月の金融政策決定会合において政策金利を引き上げると見込まれるが、通商問題の影響への言及があるかにも注目され、債券・為替市場はともに一進一退の動きを予想。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	↑ 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	10.10% (▲0.45)	28.55円 (▲1.74%)	+1.2% 2018年1Q	6.50%	経常収支は市場予想を下回る一方で、全国失業率は前月比で改善。中銀は、トラック運転手のストライキの影響を反映し、2018年の経済見通しを下方修正する中、レアルは対円で下落。国債利回りは低下。	貿易収支や鉱工業生産などが発表予定。大統領選挙もまだ先が読めない状況で、レアル相場が自律的な安定を取り戻すかに注目。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Ba2	↓ 金利低下	↓	↑ 景気回復	→ 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.71% (▲0.10)	5.56円 (+1.15%)	+1.3% 2018年1Q	7.75%	小売売上高と貿易収支は市場予想を下回る内容。7月1日の大統領選挙を控えてやや緊張感が高まり、また世界的な通商問題の先行きに不透明感が台頭する中、メキシコペソは対円で上昇。国債利回りは低下。	製造業PMIや消費者信頼感指数などが発表予定。また、大統領選挙ではロペスオブラドール氏が勝利した模様で、新政権の対米国との関係が注目される状況となり、債券・為替市場はともに神経質な展開となる可能性も想定。
	A3	→ 金利横ばい	↑	→ 景気安定	↑ 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/29 （6/22との比較） 今後の見通し （※4）	6/29 （6/22との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.63% （▲0.02）	81.99円 （+0.22%）	+3.1% 2018年1Q	1.50%	民間部門信用の増加率は前月比で鈍化。米中貿易摩擦をはじめとした、世界的な貿易戦争への不安が広がり、中国の経済指標が悪化傾向にある中、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	貿易収支や小売売上高などが発表予定。また中銀は政策金利を据え置くと予想。引き続き、米政府の保護的な通商政策や、世界的な貿易戦争の行方には注意が必要。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.85% （▲0.09）	74.88円 （▲1.42%）	+2.7% 2018年1Q	1.75%	中銀は政策金利の据え置きを発表。経済成長が鈍化し、インフレ率が引き続き目標を下回る中で必要なら政策金利を引き下げる構えを示唆。ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは低下。	中銀は、政策金利が当面現行水準で留まることを示唆し、必要に応じて上下いずれの方向にも変更する準備がある旨を言及。債券・為替市場はともに方向感をつかみづらく、海外市場をにらんで一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.78% （▲0.06）	13.59円 （+0.05%）	+0.3% 2018年1Q	0.50%	経済指標からは、好調な個人消費や底堅い雇用環境が示唆。引き続き経済環境が良好である中、海外市場との強弱材料にはさまれ、ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは低下。	製造業PMIや鉱工業生産などが発表予定。海外の金融市場に影響を受けやすい地合いではあるものの、国内の底堅い経済環境を受け、ノルウェークローネは対円で底堅い推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/29 （6/22との比較）	6/29 （6/22との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	8.22% （▲0.01）	8.06円 （▲1.50%）	+0.8% 2018年1Q	6.50%	大手格付機関は、弱めの企業信頼感を背景に経済見通しの改善も限定的と言及。海外投資家による南アフリカ債券の多額の売り越しがIIF（国際金融協会）より示される中、国債利回りは小幅低下。ランドは対円で下落。	製造業PMIや外貨準備高などが発表予定。足元で軟調な経済データが散見される中、引き続き国内経済の動向には注目。新興国資産に対する警戒感が残ることなどから、債券・為替市場はともに上値の重い展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.57% （+0.29）	0.78円 （▲0.67%）	+5.1% 2018年1Q	5.25%	中銀は、経済、特にルピアの安定性を強化するため、市場予想を上回る0.5%の利上げを実施。また、海外投資家の債券売買フローの純流出が続いたことなどを背景に、国債利回りは上昇。ルピアは対円で下落。	インフレ統計や製造業PMIなどが発表予定。インフレ上昇率が中銀の目標範囲内で推移することが見込まれるも、海外投資家の債券売買フローが流出方向に偏りやすい中、国債利回りは上昇しやすい地合いを予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
インド 	BBB-	8.02% （+0.10）	1.62円 （▲0.26%）	+7.7% 2018年1Q	6.25%	原油価格上昇による経常収支の悪化への懸念により、ルピーが対米ドルで下落した局面で中銀が為替介入をした模様。財務省高官が十分な外貨準備があると言及する中、ルピーは対円で下落。国債利回りは上昇。	製造業PMI、CPI、貿易収支などが発表予定。原油価格には注意が必要だが、GST（物品・サービス税）が導入されて1年経過したことからその効果に期待。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

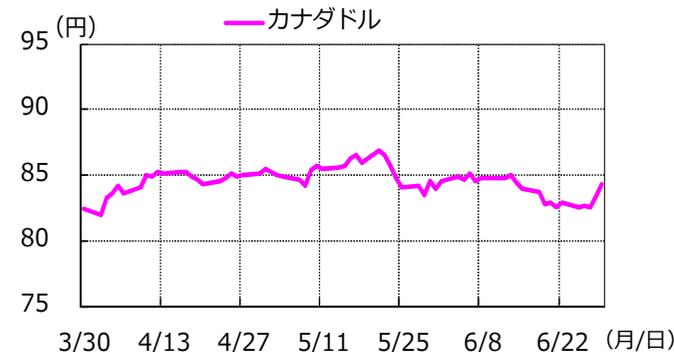
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

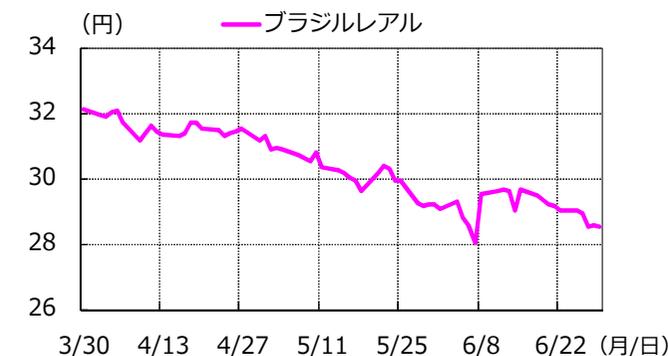
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/3/30～2018/6/29

カナダ



ブラジル



メキシコ

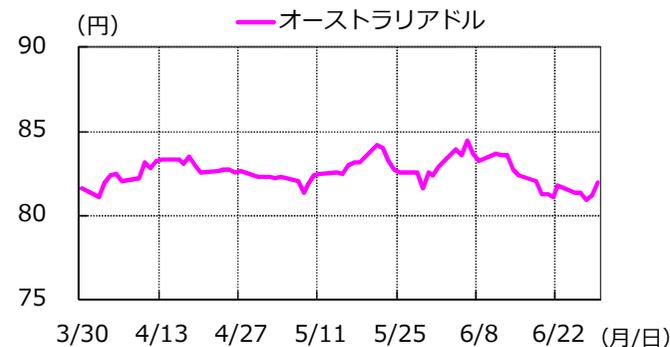
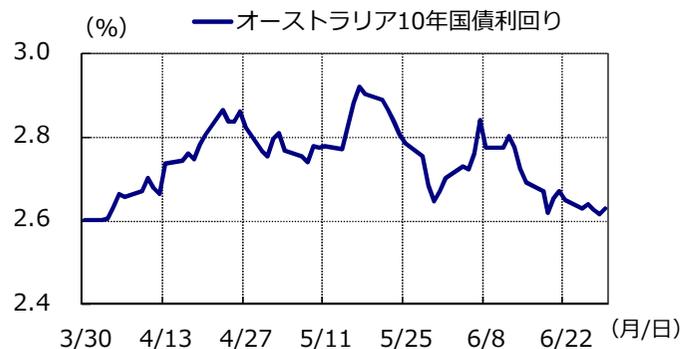


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/3/30～2018/6/29

オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

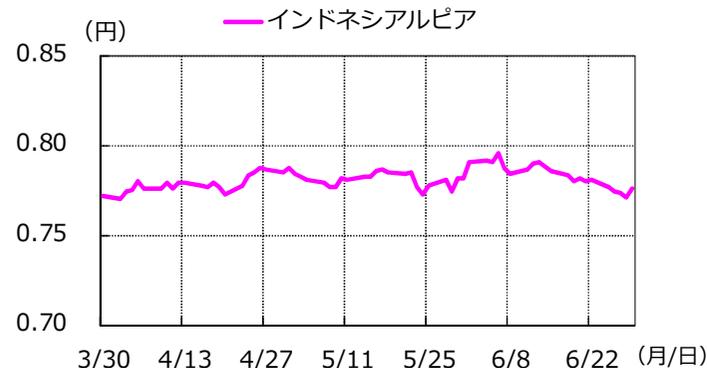
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/3/30～2018/6/29

南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。